

将来の進路先等で役に立つ基本的な 清掃の習得を目指す取組

【学校名：市川市立須和田の丘支援学校】

～取組のポイント～

将来の進路先などで役に立つ基本的な清掃の習得を目指すことを目的に、小学部から高等部まで、同じ視点で清掃活動を行い、自ら清掃に取り組む児童生徒を育てている。中でも、

○目標をもって検定に取り組むことで、主体性や、向上心を養う。

○目標を達成することで自信をもち、積極的に清掃活動に取り組む力を育てる。

という二点を活動の重点に置き、各学部それぞれの発達段階に応じて取り組んでいる。

1. 実践の概要

(1) 対象生徒

小学部、中学部、高等部の児童生徒

(2) 教科・領域

・日常生活の指導、職業・家庭科

(3) 目標

①タオルの持ち方、絞り方、たたみ方の基本について、清掃検定のマニュアルと同じ方法で行う。

②清掃の自在ぼうき、塵取りの持ち方、置き方、扱い方を覚え、実際の清掃で活用する。

③テーブル拭きは、コの字型の拭き方を覚えて、実践する。

④清掃検定のマニュアルに基づいて、実際の清掃に活かす。

(4) 学習計画

期 日	主 な 内 容
5月	・マニュアルのうち、必要項目を印刷・配付をして、クラスごとにテーブル拭き・窓拭き・床清掃の共通確認をする。
6月	・清掃検定に向けて、チラシを作りクラスに配付。 ・プレ検定に向けて中学部、高等部の学年、クラスごとに（9月校内検定に向けて準備する）
7月	・プレ検定（※清掃検定前の練習期間） 1日（木）～16日（金） 本人と担任に、良いところや改善点を伝え、今後の参考にする。
9月	・第1回 清掃検定 検定日 21日（火）～30日（木）
12月	・県の清掃検定該当生徒なし
1月	・第2回 清掃検定 検定日 21日（金）～26日（水）

[基本的な技術の習得への取組]

- ・小学部：「遊び」の活動を通して
- ・中学部：生徒同士で行う清掃活動や清掃検定に向けての取組を通して
- ・高等部：毎日の清掃活動を通して

2. 実践の内容

[各学部の取り組み]

(1) 小学部の取り組み

午後の生活の時間の13時30分から20分間程度、清掃に係る身体の使い方や道具の扱い方について学んでいる。低学年は、「遊び」（ゲーム形式で、床に置かれた物をほうきのような棒を使って決められた場所に集める活動。高這いや四つ這いの姿勢で、箱を前に押し進める活動等。）を通して、清掃活動での様々な身体の使い方を経験していく。高学年は、様々な清掃道具を操作することに重点を置いて取り組んでいる。自在ぼうきや座敷ぼうきを使用して、掃き掃除や雑巾モップを使用（雑巾がけの代替）しての床拭きを行っている。また、友達と協力しながら配膳台や机・椅子運びにも取り組んでいる。

(2) 中学部の取り組み

日常生活の指導の中で、給食後に清掃の時間を設け、教室を中心に清掃をしている。小学部で習得した清掃の技術に加え、役割を果たしたり友達と協力したりすることを意識して取り組んでいる。また、テーブルの拭き方や、床の掃き方・拭き方などは高等部の清掃検定内容に合った清掃技術を取り入れている。校内清掃検定にチャレンジする生徒もいる。学級や生徒の実態に合わせ、協力して取り組んでいる。

(3) 高等部の取り組み

月曜日から金曜日までの毎日14時5分～14時45分の時間に、毎日15分間を清掃の時間に充て教室や廊下、階段などの場所を中心に隅々まできれいに清掃ができるように取り組んでいる。高等部の生徒は、テーブルや机を拭くときは、タオルの持ち方、雑巾の絞り方、たたみ方に気をつけて、コの字型を意識して少しずつ拭けるようになってきた。また、床や廊下を掃く時は、自在ぼうきの持ち方や掃き方を千葉県清掃検定に基づいて取り組んでいる。

実践（校内清掃検定、校内清掃の様子）



< 掃き清掃 >



< 拭き清掃 >



< 高等部清掃の時間 >

3. 実践の評価（成果と課題）

(1) 成果

清掃検定という技能検定を経験することで、清掃の技能面で自信をもつ生徒がでてきている。生徒は「自分たちで、清掃場所をきれいにしよう。」という意欲が感じられるようになってきた。清掃検定は、現在の清掃検定が何級の力なのかを知る良い機会である。そこから級が分かり、更に上の級を目指し明確な目標がもちやすい。最近では、少しずつ清掃検定を受検する生徒が増えてきている。

(2) 課題・展望

千葉県清掃検定1級を取得し、県検定に出る生徒が減ってきているので、教員には引き続きキャリア教育の清掃部会などで各学部の教員と連携して清掃検定のマニュアルなどの伝達をしたり、清掃技術の向上に向けてどう支援していくかなど話し合いをしたりして、これからも清掃検定の大切さを伝えていきたい。